

祝 卒業証書授与式 (3/3)

3月3日(火)、多くの来賓の方々と保護者の皆様のご出席をいただき、大社高校第67回卒業証書授与式が盛大に、そして厳粛に挙行されました。この日、普通科236名と体育科30名の計266名が大社高校という学舎を巣立っていきました。在校生代表送辞では、勝部嵩大くんが、先輩として、後輩を引っ張ってしてくれたことへの感謝とこれから先輩たちから受け継いだ伝統を守り、発展させていきたいとの誓いを述べました。そしてその送辞を受ける形で、永井佐和子さんが卒業生代表答辞を述べました。3年間の学校生活、寮生活で多くを学んだこと、その間支えてくれた方々への感謝、そして、これからそれぞれが道を切り拓いて進んでいく決意。涙ながらに熱く語る姿は多くの人の胸をうちました。卒業生の皆さん、これからの更なる活躍を期待しています。



卒業生代表
永井佐和子さん



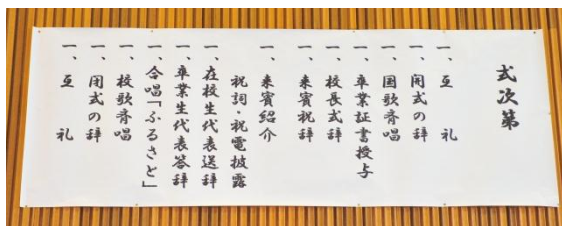
在校生代表
勝部嵩大くん



たくさんの祝詞・祝電
ありがとうございました



3年担任



式次第
 一、開式の辞
 一、国歌斉唱
 一、卒業証書授与
 一、校長式辞
 一、来賓祝辞
 一、来賓紹介
 一、在校生代表送辞
 一、卒業生代表答辞
 一、合唱「ふるさと」
 一、校歌斉唱
 一、閉式の辞
 一、礼

2年体育科スキー実習 (1/19~22)

2年体育科スキー実習が1月19日~22日にかけて国立公園大山スキー場にて行われました。1年生のスキー研修以来で、感覚を思い出しながらインストラクターの方々から指導していただきました。最終日の検定では皆が緊張した面持ちで臨みましたが、練習の成果を発揮し、華麗な滑りを披露してくれました。4日間の研修を通してさらなる絆が生まれ、最終学年にむけてクラスが一丸となって突き進む固い礎ができたのではないのでしょうか。

1月19日から4日間の日程で、だいせんホワイトリゾートスキー場で実習をしました。初めてチャンピオンコースやリーゼンコースに行ったときは、こんなところをうまく滑れるのかなと心配していましたが、実習をしていくにつれ、全く恐怖心がなくなり一度も転ぶことなく滑ることができるようになりました。実習では、技術面だけでなくグレンデでのルールやモラルをしっかりと教えてもらいました。最初は、自分だけが楽しく滑ることができればいいと思っていましたが、その気持ちが周りの人に迷惑をかけてしまっているということや、減速しなければいけないところでスピードを出しすぎて、安全面を考えないで行動したりしていたことに気づきました。生活面では、みんなで朝から晩まで同じ生活をして、クラスの団結力もまたしっかりできたと思います。実習を終えて一番感じたことは、とにかくたくさん練習をすれば、必ずうまくなれるということです。これからは、最上級生としてしっかりと学校を引っ張っていけるクラスにしていきたいです。(2年7組 日野健太)



1年大山宿泊研修 (2/4~6)

国立公園大山スキー場にて恒例の1年生集団宿泊研修が2泊3日で行なわれました。2日目は天候が悪くでのスキー実習でしたが、生徒は天候にも負けずどんどん滑っていき、見る見る上達していました。この集団活動を通して、生徒たちは仲間との友情を深め、それぞれに楽しい思い出を創ることができました。

私達1年生は2月4日から3日間の日程で、大山にスキー研修へ行きました。私は久しぶりにスキーをして、なかなか上手に滑ることができずに転んでばかりで、みんなに迷惑をかけました。ですが、みんなが「大丈夫?」「何回も滑っているうちに上手になるよ!」と励ましてくれ、インストラクターさんの丁寧な指導のおかげで最後まで楽しく滑ることができました。また、1番上まで上ったときに鳥取県と島根県の地図で見えるような形が見えました。「こんな景色を見られるところまでこられたんだ」と達成感で胸がいっぱいになり、ここで見た景色は忘れられないものとなりました。スキーを通して仲間の大切さ、諦めずに続けることで得る達成感、自然の素晴らしさを感じることができました。宿泊先ではルールを守ること、率先して動くこと、当たり前のことを当たり前にするのを学んだと同時に、クラスのみならず友情を深め、色々な良い一面を見つけることもできました。単に「楽しかった」と思い出にするだけでなく、学んだことを今後の生活に活かしていくことが大切だと思いました。

(1年6組 森脇那智)



女子バレーボール部 中国新人大会第3位



私達は1月の県大会で優勝し、先月広島のグリーンアリーナで行われた中国新人バレーボール大会に出場しました。3位という結果でしたが、個人の技量、チーム全体の欠けている所などたくさんの課題が見つかりました。4月にある中国予選、そして6月にあるインターハイ予選で優勝し、初のインターハイ出場を目指しています。そこで最高のパフォーマンスができるよう、今の結果に満足せず日々の練習に励んでいきたいと思ひます。いつも指導して下さる先生方や支えてくれる家族、応援して下さる地域の方々、友達への感謝の気持ちを忘れずに学校生活をしっかりしていきたいと思ひます。

(2年1組 上田真妃)

2月13日(金)から広島県で行われた第23回中国高等学校新人バレーボール大会に出場しました。予選ブロックを1位通過し、準決勝で山口県代表の誠英高校に敗れました。敗れはしたものの、第3位という結果はすばらしいものでした。

合唱部 全国大会へ



3月20日(金)に福島県で行われる「第8回声楽アンサンブルコンテスト全国大会2015」に出場します。中学校、高等学校、一般の各部門で競い、各部門の金賞受賞団体(上位5位)が、最終日の本選に出場し、各部門の枠をこえて大会が実施されます。

私達は2年生8名、1年生10名で毎日楽しく活動しています。今年度は、夏のコンクールで次に進むことができなかったことなど、悔しい思いもたくさんしました。しかし、その時の悔しさがバネとなり、2月に行われたプラバ室内合唱コンクールでは銀賞を受賞し、目標であった全国大会出場を成し遂げることができました。全国大会のステージでは、普段の練習から意識をしている『伝わる演奏』を目指したいと思ひます。また、先日は第4回定期演奏会へのたくさんのご来場ありがとうございました。みなさんと至福のひとつきを過ごせましたことを部員一同、心より感謝しています。来年度も合唱部をよろしくお祈りします。(2年1組 神門侑芽)

ありがとう 高木校長

校長

高木弘伸



全国でも数少ない剣道八段の段位をお持ちである大社高校出身の高木校長は24年4月に母校に赴任されました。そんな校長先生も38年間という長い教員生活を今年度で終わられることとなりました。先輩でもある先生から後輩である生徒たちに熱いお言葉をいただきました。

歲月只是 如夢中～あつという間の38年間～

第40代校長 高木弘伸

今月の31日をもって、38年間の教員生活を卒業させていただくこととなりました。思い起こせば、昭和52年4月2日、松江緑ヶ丘養護学校を初任校として、平田高校、大田高校、大社高校、佐田分校、大社町教育委員会、佐田分校、島根県教育庁保健体育課、掛合分校、隠岐水産高校勤務を経て、最後に大好きな母校大社高校で終わることとなりました。この間、たくさんの生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様、地域の方々に出会えて、いろいろな体験や経験をさせていただきました。また、大きな病気や怪我をすることもなく健康で勤務できたことは大変幸せでした。特に教員(指導者)として顕著な成果をあげることはできませんでしたが、教え子たちが立派に成長してくれていることに自己満足し、これが一番の私の成果であると思ひています。「青は藍より出でて藍より青し」です。私は小学生のころより剣道をはじめ今年で51年になります。馬齢を重ねて60年になりますので、人生のほとんどを剣道と共に歩んできました。私の人生観は剣道の修行によって形成されたといっても過言ではありません。剣道には崇高な理念があります。「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」また、修練の心構えとして、「剣道を正しく真剣に学び、心身を錬磨して旺盛なる気力を養い、剣道の特性を通じて礼節をとうとび、信義を重んじ誠を尽くして、常に自己の修養に努め、以て国家社会を愛して、広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである」と謳われています。「教育は人なり」とよく言われますが、その通りだと思ひています。教員は生徒を指導すると同時に自分の人間性を磨くことが最も大切であると思ひています。子供は親の背中を見て育つといいますが、生徒は教員の背中を見て育つと思ひます。私は剣道という人間性を磨く手段が発見できたことは、大変幸せでした。「教育者」であることと「剣道修行者」であることはイコールでした。あつという間の38年間でした。これからは、剣道の修行をとおして人格を陶冶し充実した人生を送りたいと思ひます。私の好きな戦国武将 上杉謙信は、「一期栄華一杯酒 四十九年一睡夢 生不知死亦不知 歲月只是如夢中」という句を残しています。こういう人生を送りたいものです。私と母校大社高校に関係いただいたすべての皆様に感謝申し上げ、母校のさらなる発展と皆様方のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、退職のご挨拶といたします。

今後の予定

3月25日(水) 入学予定者オリエンテーション
28日(土) 閉寮(8時30分)
31日(火) 開寮(17時)
4月 8日(水) 新任式、始業式、健康診断(3年)
9日(木) 入学式、対面式、入舎式、健康診断(2年)
10日(金) 部活動オリエンテーション
13日(月) 2年スタディーサポート
14日(火) 前期生徒会専門委員会
15日(水) 1年校歌練習(~17日)
16日(木) 健康診断(1年)
21日(火) 前期生徒総会
22日(水) 遠足
23日(木) 1年スタディーサポート

5月 6日(水) 3年模試(~7日)
11日(月) 試験発表
16日(土) 出校日、PTA総会(学年PTA、学級懇談会)
18日(月) 中間試験(~22日)
20日(水) 振替日(5月16日)
22日(金) 壮行式、寮大掃除
25日(月) 2年実力テスト
26日(火) 総体応援期間(~28日)
29日(金) 前期総体(~31日)

平成26年度3年生進路状況



- ・国立大学 20人
- ・公立大学 35人
- ・私立大学 230人
- ・公立短大 23人
- ・私立短大 18人
- ・高専 30人
- ・医療系専門学校(除高専) 10人
- ・専門学校 16人
- ・公務員 5人
- ・民間就職 5人

<3月13日現在合格者数(延べ)>

今年は大学入試センター試験が新課程に変わり、数学・理科では受験生も不安な要素もあったと思ひますが、大きな混乱もなく無事終了しました。昨年度との大きな違いは、島根県立大学の合格者が3人から、今年推薦入試4人を含む12人が合格してくれたことです。就職に関しては県全体で求人数は増えてきましたが、普通校である本校の性質上、就職者の数は例年とほぼ変わっていません。(進路指導部長 清水隆)